

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (No.1)

氏名	
----	--

診療科名	呼吸器外科		
入院予定期間	年	月	日
	年	月	日

月日	/
経過	入院日（手術前日）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> *入院生活について理解しましょう。 *手術について理解しましょう。 *転倒・転落の予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> *入院当日に動脈採血があります。 *麻酔科受診があります。麻酔担当医から麻酔について説明があります。 *体重測定を行います。（手術後3日目まで毎朝行います。）
薬	*持参の薬は継続して内服するかどうかを主治医に確認するため、一度お預かりします。（医師からの指示に応じ内服を継続していただきます。）
観察	*入院時の自覚症状や呼吸音、痛みの有無等の観察、喫煙されていた方は禁煙されているかの確認を行います。
処置	
排泄	*制限はありません。
活動	*制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> *手術前日 21 時から食べたり、飲んだりはできません。 （ただし手術が午後の方は 24 時までは水分を摂ることができます。）
清潔	*手術前日に必ずシャワーを浴びましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> *医師から手術の説明があります。 *看護師から入院生活、手術前後の処置、必要な物品、手術の流れについて説明いたします。 *手術に必要な物品を準備します。（バスタオル・胸帯（商品名：マトラ）・T字帯・浴衣） *外来時に購入されたトライボールで、手術前日まで呼吸訓練を継続します。入院時忘れずにお持ちください。 *入院中の転倒・転落防止策について看護師から説明いたします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (No.2)

氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術当日（手術前）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> * 不安がなく手術に臨みましょう。 * 転倒・転落の予防について理解しましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> * 体重測定を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none"> * 手術当日、内服薬は中止となります。
観察	<ul style="list-style-type: none"> * 手術前に、血圧・体温・脈拍及び自覚症状や呼吸音、痛みの有無等の観察を行います。
処置	<ul style="list-style-type: none"> * 手術前に深部静脈血栓予防のため、弾性ストッキングを着用します。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> * 制限はありません。 * 手術に行く直前に、排尿を済ませてください。
活動	<ul style="list-style-type: none"> * 制限はありません。
食事	<ul style="list-style-type: none"> * 起床後、食事・水分を摂らずにお待ちください。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> * 起床後、歯磨き・洗面を済ませてください。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> * 手術の時間になったら弾性ストッキングを履き、浴衣に着替えて手術室に向かいます。（看護師が声をおかけします。） * 手術について不明な点、不安な点があれば説明いたしますので声をかけてください。 * 貴重品（指輪・時計・ネックレス・義歯など）はご家族にお預けください。 * 外れやすい歯やぐらつく歯がある場合は、事前に看護師へお知らせください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (NO.3)



氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術当日（手術後）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> * 傷の痛みや吐き気など何か症状を感じたら我慢せず医師や看護師に伝えましょう。 * 手術後の安静を守りましょう。
治療	<ul style="list-style-type: none"> * 手術をした側の傷口付近に管（ドレーン）が入っています。 * 酸素マスクをつけています。 * 点滴を行います。
薬	<ul style="list-style-type: none"> * 内服薬は翌日から再開となります。 * 点滴もしくは背中に入っている管から持続的に痛み止めを使います。 * 痛みが強い時は他の薬も使えるため、医師や看護師に伝えましょう。
検査	<ul style="list-style-type: none"> * 手術が終了した時点でレントゲン撮影をします。 * 手術後に採血を行います。 * 手術後の全身状態管理のため心電図モニター、酸素濃度を測定する機械、点滴ポンプ、フットポンプ等を装着します。（翌日医師の回診後に取り外します。）
観察	<ul style="list-style-type: none"> * 痛みの有無、呼吸音、ドレーン（胸に入っている管）の排液量、色、ドレーンが入っている箇所の皮膚の状態などを医師、看護師が観察します。 * 看護師が1時間毎に検温を行います。また術創部の観察も行います。
排泄	<ul style="list-style-type: none"> * 尿を排泄するための管が入っています。 * 排便はベッド上で行います。（看護師が支度や片付けを行います。）
活動	<ul style="list-style-type: none"> * 手術後からベッドを30度程度あげておきます。また体の向きを変えることができます。ドレーン挿入中のため看護師がお手伝いします。
食事	<ul style="list-style-type: none"> * 手術室から帰室5時間後から水分を摂ることができます。その際に看護師が付き添い水を飲むテストを行います。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> * 顔を拭く、うがい、歯磨きなどお手伝いします。
移動	<ul style="list-style-type: none"> * 手術のあとは、病棟にて全身状態の観察を行います。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> * 手術終了後、主治医よりご家族の方へ手術の経過についてお話をします。 * 手術後、点滴やドレーンを誤って引っ張らないよう注意しましょう。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (NO.4)

氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/				
経過	手術後1日目				
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> *病棟内を歩行しましょう。 *身体の苦痛や痛みがある時には我慢せずに医師や看護師に伝えましょう。 *転倒・転落に注意して過ごしましょう。 				
観察	*痛みの有無、呼吸音、ドレーン（胸に入っている管）の排液量、色、ドレーンが入っている箇所の皮膚の状態などを医師、看護師が観察します。				
薬	<ul style="list-style-type: none"> *朝から内服薬が再開となります。 *痛み止め・胃薬・去痰剤の内服が始まります。 *点滴は朝で終了となります。 				
検査	<ul style="list-style-type: none"> *採血とレントゲン撮影があります。 *4時間毎に検温を行います。 *体重測定を行います。 				
処置	*胸に入っている管から、不要な血液や胸の中の水、空気を吸引します。（液体を溜める入れ物と一緒に行動します。）				
排泄	*尿の管は午前中に抜きます。管を抜いたあとは毎回採尿をして尿量を測定します。（方法は看護師が説明いたします。）				
活動	<ul style="list-style-type: none"> *ドレーンの取り扱いに慣れ、歩行が安定するまでは看護師と一緒に病棟内を歩行します。*歩行できるようになったらフットポンプを外して弾性ストッキングも脱ぎます。 *寝たままではなく、できるだけ上半身を起こした状態で過ごしましょう。（肺炎予防のため起き上がり、痰もしっかり出しましょう。） 				
食事	*朝食から再開となります。 				
清潔	*看護師があたたかいタオルで体をふきます。				
移動					
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> *胸の中に管が入っています。曲げたり、踏んだりしないようにしましょう。 *手術後初めて歩行する際は看護師が付き添います。その際にドレーンの取り扱い方法を説明いたします。 				

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (NO.5)


氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/		/	
経過	手術後2日目		手術後3日目	
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> * 身体の苦痛や痛みがある時には医師や看護師に伝えましょう。 * 積極的に歩行しましょう。 * 転倒に注意しましょう 			
観察	* 痛みの有無、ドレーンの状態、呼吸音等を観察します。			
検査	<ul style="list-style-type: none"> * 朝食前に体重測定を行います。 * レントゲン撮影があります。 		<ul style="list-style-type: none"> * 採血とレントゲン撮影があります。 * 朝食前に体重測定を行います。 (毎朝の体重測定はこの日で終了です。) 	
処置	* 肺の状態をレントゲンでみて、ドレーン(胸に入っている管)が抜ける可能性がります。			
排泄	* 尿の量を測ります。(翌朝0時までで終了です。)			
活動	* 制限はありません。			
食事	* 制限はありません。			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> * 管が入っている間はあたたかいタオルで体を拭くことができます。 * 下半身のシャワー、シャンプーは行うことができます。 * ドレーンが抜けたら全身のシャワーを行うことができます。 			
説明指導	* シャワー可能となった際には創部の洗い方を看護師が説明いたします。			

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート (No.6)

氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	手術後4日目～ドレーンが抜けるまで（手術後5日目）
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> *身体の苦痛や痛みがある時には医師や看護師に伝えましょう。 *積極的に歩行しましょう。 *転倒に注意しましょう 
観察	*痛みの有無、呼吸音、ドレーン（胸に入っている管）の排液量、色、ドレーンが入っている箇所の皮膚の状態などを医師、看護師が観察します。
薬	*手術前に医師の指示で中止していた内服薬の再開を医師に相談します。
検査	*適宜、採血、レントゲンの予定が入ります。（ドレーンの抜去時期によって検査予定は個々の患者さんによって違います。）
処置	*肺の状態をレントゲンでみてドレーン（胸に入っている管）が抜ける可能性があります。
排泄	*制限はありません。
活動	*制限はありません。
食事	*制限はありません。
清潔	<ul style="list-style-type: none"> *ドレーンが抜けたら全身のシャワーを行うことができます。 *管が入っている間はあたたかいタオルで体を拭くことができます。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> *転倒予防について説明いたします。 *胸の管が抜けて退院のめどが立った段階で、退院後の生活の注意点について看護師から説明いたします。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

ロボット支援下縦隔腫瘍切除術(悪性) 患者さんパスシート(No.7)

氏名		診療科名	呼吸器外科		
		入院予定期間	年	月	日
			年	月	日

月日	/
経過	ドレーンが抜けてから退院日（手術後6日目）まで
達成目標	<ul style="list-style-type: none"> * 身体の苦痛や痛みがある時には医師や看護師に伝えましょう * 積極的に歩行しましょう。 * 転倒に注意しましょう。 * 退院後の生活をイメージしましょう。 * 退院後の生活について疑問点があれば質問しましょう。 
観察	* 痛みの有無、呼吸音、管を抜いた箇所の皮膚の状態などを医師、看護師が観察します。
薬	* 手術前に医師の指示で中止していた内服薬の再開を医師に相談します。
検査	* ドレーン（胸に入っている管）を抜いた翌日にレントゲン撮影をします。
処置	
排泄	* 制限はありません。
活動	* 制限はありません。
食事	* 制限はありません。
清潔	* シャワーを浴びましょう。
説明指導	<ul style="list-style-type: none"> * 管が抜けた後のレントゲンで異常がなければ、退院となります。 * 患者さんパスシートに沿って、退院後の生活の注意点について看護師から説明いたします。 * 次回外来日について説明いたします。 * 保険などの書類は、退院日に本館1階のAブロック文書受付窓口へ提出してください。

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
 なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

<退院後に気をつけていただきたいこと>

※感染予防・傷の管理について

- 手術した箇所は抜糸を行っていません。抜糸は次回外来で行います。退院後はシャワーの際などにご家族の方にみてもらう、もしくは鏡を使って傷の赤み、腫れ、浸出液がないか観察を行ってください。シャワー時はボディソープをよく泡立てて傷をこすらないように優しく洗いましょう。浴槽に浸かる、プールに入ることは次回外来までは控えてください。
(入院中に装着されたテープ及び絆創膏は、帰宅後外してください。)
- 風邪をひかないよう注意しましょう。外出後は手洗い、うがいを行う、人ごみではマスクを着用するなど予防に努めましょう。

※食事について

- 今回の手術による食事制限はありません。

※運動・仕事について

- 退院後も手術の影響に伴い、しばらくの間は痛みが続きます。個人差がありますが次第に軽快していきます。退院後に痛みに関して不安な方は医師へご相談ください。
- 次回外来までに仕事復帰を予定されている方、ジョギング等運動する予定がある方は退院前に再開して良いか医師へご相談ください。

※次回外来までに下記の症状が出現した際は呼吸器外科外来までお電話にてご相談ください。
緊急で受診したほうが良いか、医師が判断します。
ただし夜間、休日の場合は総合診療センターまでお電話ください。

- | |
|--|
| <ul style="list-style-type: none">①安静にしても息が苦しい時。②高熱（38.0℃以上）が続く時。③咳や痰が増えた、血性や膿性、または水様の痰が続く。④術後の傷が赤く腫れてきた、または傷口から浸出液が出てきた。 |
|--|

日本医科大学付属病院（代表）03-3822-2131
呼吸器外科外来（内線）3386.3387 <9:00~16:30>
総合診療センター（内線）3304. 3305 <16:30~9:00>

このパスシートは、診療計画の概要等をお知らせするものであり、治療・検査等を決定するものではありません。
なお、病状に応じて変更する事がありますが、その時はお知らせしますのでご了承ください。

日本医科大学付属病院 2020年6月改訂